

# 来ぶらり74

## 秋、読書ノススメ

秋です。  
読書好きなあなた、  
忙しくてなかなか本を読めないでいるあなた、  
本なんて、と思っているあなた、  
あなたなりの読書をしてみてはいかがでしょうか。  
読書するキッカケということで、  
今回は大学図書館の若手職員に  
学生時代に読んだ印象深い本を紹介してもらいます。

### 『西の魔女が死んだ』

不登校になってしまった主人公まいと、そのまいを預かったおばあちゃんの物語。魔女の家系であるというおばあちゃんとまいの魔女修行の日々が描かれている。

といっても超常現象が起こったりするようなことはない。子どもの頃にこういう生活をしてみたかったな、というような自然の中で季節を感じられる生活のシーンを淡々と描いているのである。それがとても心にしみる。今からでもこういう生活をしてみようという気にさせられるのだ。

魔女修行というのは意志の力を鍛えること。悲しみや辛さを癒すのは自分の力。自分自身で決め、それを実行する力。聞きたくないものが聞こえてきた時、それに惑わされない力。まいの心を通してさまざまな出来事を共に経験するうちに、そういう主題が自然と自分の中にも浸透してくることに気づく。

読み終えたとき思わず涙が浮かんだ。悲しくて切ないけれど、清々しい、優しい気持ちになれる。そんな不思議な読後感を与えてくれる作品だ。

成熟した大人になるために人はたびたび幼い年齢の自分に戻って確認作業をすることが必要で、児童文学は幼い頃の感覚を取り戻すためのものだ、というよう

なことを以前どこかで聞いたことがある。たまには児童文学の世界で、幼い頃の自分を思い出してみるのも良いのではないだろうか。

大学図書館 整理課 / 生田陽子

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩著 新潮社, 2001  
(大学図書館・開架 Shincho/な37/2)

### 『Billedbog uden Billeder ～絵のない絵本～』

「みにくいアヒルの子」、「マッチ売りの少女」、「親指姫」、「人魚姫」・・・どこかで一度くらいは聞いたことのある物語ばかりだと思いますが、これらは全てアンデルセンの作品です。彼の描く結末にはどこか悲哀が含まれていて、読む度に色んなことを考えさせられます。学生時代、その不思議な世界観に強く惹かれたことを今でも覚えています。

そんなアンデルセンの作品の中でも特にお勧めしたいのが、「絵のない絵本」という作品です。この作品は33夜(話)からなるオムニバス形式の物語で、一つ一つの物語が短いので寝前のちょっとした時間でも読めてしまいます。この本にはタイトル通り「絵」がありませんので、1つ1つの言葉から自分で物語の世界を

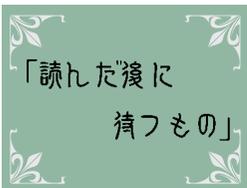
想像しなくてははいけません。自分だけの世界を頭に浮かべ、物語の結末に思いをはせた時、きっと今まで見過ぎていた色んなことを考えさせられると思います。

2005年4月2日に生誕200周年を迎えるアンデルセン。この機会にアンデルセンの不思議な魅力に触れてみてはいかがでしょうか？

大学図書館 運用課 / 白石和徳

『絵のない絵本』改版 矢崎源九郎訳 新潮社, 1987  
(大学図書館・開架 Shincho/A1/1)

『絵のない絵本』改版 大畑末吉訳. 岩波書店, 1975  
(大学図書館・開架 082.1/33Dア/754a 大学図書館・書庫 082.1/33D/754a)



この本は僕が大学4年の就職活動が終わった頃に読んだ本です。“すぐれた意思決定” そう銘打った本に素直に魅かれ、はたして自分の就職は正しい選択だった

のか等と考えてみたものです。本書によれば、僕たちが日々生きることは判断と選択の連続であり、濁りきった情報の渦の中で僕たちは日々、判断と選択を迫られている、のだそうです。

今でも思うことですが、この本を読んで“すぐれた意思決定”はできませんし、役にも立ちません。ただ“すぐれた意思決定”を考える機会にはできると思います。その機会を見逃すことも、つかむのもそれは自由だと、僕なんかは思います。

本書を他人に薦めますかと聞かれれば、「いいえ」と答えそうです。テーマが“読書ノススメ”ですが申し訳ない。就職活動を控えている方は読まない方がよいかもしれないし、終えた方も読まない方がよいかもしれない。自分のことは自分で決めたいと思う方も読まない方がよいかもしれない。ただ、読書の結果はひとによるので何とも言えませんので読んでみるのもいいかもしれません。物事の視点が多少変わるかもしれませんが、とまあ結局薦めているのですが、う～ん、どうでしょう。

大学図書館 運用課 / 米田岳史

『すぐれた意思決定 判断と選択の心理学』印南一路著 中央公論新社, 2002  
(法経図書センター・書庫 490/R242)



映画やドラマでも有名になった「アルジャーノンに花束を」。読んだことがある人のほうが多いかもしれませんがね。ただし今回推薦するのは邦訳ではなく原作

「Flowers for Algernon」(ダニエル・キイス著)です。大学1年生の授業用テキストにもなっているので、とても読みやすい本だと思います。

手術により驚くべき知能を手に入れた主人公チャーリー。しかし、知能を手に入れたことにより、彼は愛や喜びを知ると同時に人間の愚かさ、醜さを知る。手に入れた知能と失った友情。やがて、皮肉なことに同じ手術を受けていた白ネズミのアルジャーノンの知能は急速に低下していく。そしてチャーリーは…。

読み終わったとき、悲しいけれども心の中になにか暖かいものが残ります。幸せは人それぞれに違うものですが、今ここにいる自分、周りにあるすべてのものがかけがえのない、いとしいものであることを感じます。秋の夜長、辞書を片手にあなただけのアルジャーノンを見つけてあげてください。読むたびに異なる感動が沸き起こることでしょう。

でも辞書を引くのが…というアナタ、ルビーブックス(講談社)で挑戦してみてはいかがでしょうか？わかりにくい語句の上に「ルビ訳」がふられています。大学図書館でも購入しているので是非！

大学図書館 整理課 / 巽麻希子

『アルジャーノンに花束を』ダニエル・キイス著 講談社インターナショナル, 1999  
(大学図書館・開架 082/R827r1/6)



## レファレンス・カウンターを知っていますか？



大学図書館の2階にあるレファレンス・カウンターでは、学習・研究・調査する上で必要な資料や情報を探お手伝いをするサービスを行っています。ここでは卒論・修論に役立つサービスを3つ紹介しましょう。

### 1. データベースの利用法

MAGAZINEPLUS (マガジンプラス)、NACSIS webcat (ナクシス ウェブキャット)。この二つは利用価値が大きいデータベースです。データベースによって検索できる情報は全く異なり、利用方法も異なります。初めてこの名前を聞くという方はぜひ、レファレンス・カウンターに来てみて下さい。

### 2. 他大学の図書館へ行く

必要な資料が本学になく、他大学の図書館を利用したいというときは、紹介状が必要になります。ただし、協定を結んでいる大学の図書館を利用する場合は不要です。利用を希望する図書館がある場合、または協定について分からないという場合は迷わずレファレンス・カウンターへ。「どこの大学図書館に、いつ、何を(資料名)利用しに行きたいのか」が紹介状をもらうときに必要な情報です。

### 3. 遠隔地の図書館の資料を利用する

必要な資料が遠隔地にある場合、たいしやく 図書館を借りたり(貸借)、論文のコピーを送ってもらったり(文献複写)することができます。この場合、かかった実費をみなさんに負担していただきます。例えば、図書館を借りると、片道の郵送料が負担となります。そのほか、図書館外には持ち出せず館内で読む、利用期間は借りた先によって異なるなど細かいルールはありますが、自分で直接行くことができない場合には大変便利なサービスです。海外にある資料についてもご相談ください。

大学図書館 運用課 / 川中はるか

借りた資料を  
返却期限内に

返却していますか??

みなさん、夏休み期間中に借りた資料は、もう返却しましたか。他の利用者の迷惑にもなりますので、借りた資料は**必ず返却日までに返却しましょう。**

なお、返却日を過ぎてしまうと貸出停止のペナルティがつきます。ご注意ください。

| 延滞日数  | 貸出停止期間   |
|-------|----------|
| 1～7日  | なし(貸出可)  |
| 8～30日 | 返却日より1週間 |
| 31日以上 | 返却日より1ヶ月 |

【例】返却期限日が9月21日の本を10月15日に返却すると・・・

返却期限日から8日目の9月29日より、延滞中のため貸出停止となっています。

さらに、資料を返却した10月15日から1週間の貸出停止となります。

なお、大学図書館の本のみを延滞した場合でも、大学図書館・法経図書センター・女子大学図書館の3館が同時に貸出停止となってしまいます！

大学図書館 運用課 / 樋口佳奈

## タイトルと タイトルページについて

OPACワンポイント・レッスン

利用者の皆さんが図書館で本や雑誌を探す場合どうしますか？書棚を直接見に行く人もいますが、タイトルがわかっている場合にはOPACで検索をして所蔵の有無を調べるのではないかと思います。このOPACでの検索を可能にするためにデータ作成をしているわけです。

ところで本や雑誌には表紙、背表紙、カバー、帯紙、奥付などいろいろな場所にタイトルの記載がありますが、データを作成する際には資料のどこにあるものをタイトルとして採用するか知っていますか？

正解はタイトルページです。タイトルペー

ジはタイトル紙ともいわれ、通常は本文の冒頭にありタイトルのほかに責任著者、版次、出版社、出版年の記載があります。

ここで問題になるのはカバーや帯紙に記載されているタイトルは宣伝文句として使われることが多く、タイトルページにある記載とは違うことがあるのでよく確かめて下さい。

データ作成ではカバーや帯紙にある情報は無視するので、タイトルで検索するときにはこの点に注意しないと希望する本が探せないということになります。

大学図書館 整理課 / 北村 誠

## 本を移動しました

図書館の書棚を飾る本の多くは、新着図書を仲間として迎えるたびに、いつも小さな移動を繰り返しながら配架されます。限られたスペースの書棚にひしめきあって並ぶわけですから、時として大胆な書棚の整理が必要になります。最近2つの大きな本の移動を行いました。1つは、従来開架図書室にあった文学の個人全集を閉架書庫1層に収めたこと、もう1つは、書庫4層にあった1門（哲学・心理学・倫理学・宗教）の逐次刊行物をすべて書庫6層に上げたことです。これから増える

であろう本のために、空き棚を確保し、書架を組み直しながら、ひたすら黙して作業しました。これで新着図書の方で行儀よく書棚に並んでくれれば良いのですが、そうもいきません。配架したら次の本が来るたびに、また微調整の繰り返しです。本の移動、こればかりは図書館に残された唯一の単純で原始的な力仕事と言えそうです。

大学図書館 運用課 / 霧島浩一

「来ぶらり」のバックナンバーは大学図書館ホームページ (<http://www.glim.gakushuin.ac.jp/>) で公開しています。

来ぶらり No.74 2004年10月1日発行

発行責任者：藤原大輔 編集委員：山本有里・工藤晶子

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

☎03-3986-0221(代) 内239㉔(レファレンス) 内239㉗(閲覧) 03-5992-100㉙(閲覧直通)